

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	スポーツ科学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0004			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	システム創成工学専攻（機械制御システムコース）			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	松井 良明						
到達目標							
スポーツ科学の特質を理解し、特定のスポーツ事象の科学的分析ができるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 理解力	スポーツ科学の特質を説明できる。			スポーツ科学の特質を理解できる。		スポーツ科学の特質を理解できない。	
評価項目2 分析力	スポーツ事象について科学的分析 できる。			スポーツ事象について科学的分析 の事例を説明できる。		スポーツ事象への科学的分析を理 解できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE基準 (b) JABEE基準 (i) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 A-2 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 D-2							
教育方法等							
概要	スポーツ科学の知識と意義を広く学ぶことで、「アクティブ・ライフ」の重要性に気づき、健康で生き生きとした社会生活の実現について、自ら考えていけるようにする。						
授業の進め方・方法	スポーツ科学の内容を、「スポーツ医科学」、「健康スポーツ」、「アスレティックトレーニング」、「スポーツコーチング」、「スポーツ教育」、「スポーツビジネス」、「スポーツ文化」という7つの領域を中心に講義する。						
注意点	学習指針：講義を通してスポーツ科学に対する関心を深めるとともに、情報収集も自ら積極的に行うこと。 自己学習：スポーツ科学に幅広く関心をもつこと。学習したことを自身の生活の中で実践してみること。						
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業の概要、進め方、評価方法を理解し、説明できる。		
		2週	スポーツ医科学①		身体運動を生み出す生体のしくみとスポーツ工学について説明できる。		
		3週	スポーツ医科学②		身体運動と身体の適応及び変化、スポーツ心理学について説明できる。		
		4週	健康スポーツ		健康スポーツを学ぶ意義と実践、肥満の改善について説明できる。		
		5週	アスレティックトレーニング		アスレティックトレーナーの役割と意義、必要な知識を説明できる。		
		6週	スポーツコーチング①		スポーツコーチングの役割と責任、必要な資質と能力について説明できる。		
		7週	スポーツコーチング②		種目ごとのコーチング実践例を知り、説明できる。		
		8週	スポーツ教育		スポーツ教育の意義と歴史について説明できる。		
	4thQ	9週	スポーツビジネス①		スポーツ産業とスポーツ組織、スポーツ政策について説明できる。		
		10週	スポーツビジネス②		スポーツとメディア、イベントとツーリズム、企業スポーツとプロスポーツについて説明できる。		
		11週	スポーツ史		スポーツの人類史について説明できる。		
		12週	スポーツと人類		民族スポーツの定義と広がりについて説明できる。		
		13週	スポーツと社会		近代スポーツの定義と広がりについて説明できる。		
		14週	スポーツ文化研究		スポーツ文化の広がりと研究方法について説明できる。		
		15週	まとめ		スポーツ科学の内容と広がりについて説明できる。		
		16週	レポート作成		スポーツの科学的分析を行うことができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	レポート	授業課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	10	0	0	0	0	40
専門的能力	15	10	0	0	0	0	25
分野横断的能力	15	20	0	0	0	0	35